

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	9
サポートクラス	ダンサー	Lv.1:	サロゲート	性別	男性
称号クラス				年齢	18?
種族	ヒューリン?			境遇	義理の親
出自 (効果)	冒険者 (任意)			目標	正義

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	18	18	8	8	8	16	9
ボーナス	6	6	2	2	2	5	3
クラス修正	1	1	2	0	0	1	1
他修正							
能力値	7	7	4	2	2	6	4

HP	99
MP	69
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ミスリルファルシオン	至近	-1	13	0	0	0	-1	0
左手	クリスタルシールド		0	0	0	9	0	0	0
頭部	クリスタルヘルム				-1	7			
胴部	クリスタルアーマー				-1	14			-2
補助	ミスリルガントレット					6			-1
装身具									
能力値			7	0	4	0	6	6	12
スキル	オートガード,イミュンウェイト					6	3		3
その他									
総計(右)			6	13					
総計(左)			7	0	2	42	9	5	12
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 2 d
トラップ解除	7			7	+ 2 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	6			6	+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
HPポーション	ポーションホルダー
MPポーション	消費HP
ハイHPポーション	消費MP
ハイMPポーション	消費ハイHP
万能薬	消費ハイMP
冒険者セット	
料理器具	
肉 (干し肉?)	
果実 (ドライフルーツ?)	
小道具入れ	
バックパック	

現在重量: 18 | 最大重量: 41 | 所持金: 405 | 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーフブラッド	★	-	パッシブ	-	-	-		
効果:	タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3							
	★							
効果:								
ランパート	1		パッシブ		自身			
効果:	<カバーリング>習得							
	★							
効果:								
レボレイション	3		メジャー		自身	自動成功	シナリオSL回	
効果:	GMに疑問を直接訪ねることができる。							
	★							
効果:								
インビジブルアタック	1	3	マイナー					
効果:	命中+1D							
カバーリング	1	2	ダメージロール直前		至近		防御中1回	
効果:	対象をカバーする							
カバームーブ	3	4	<カバーリング>				シーンSL回	
効果:	<カバーリング>射程を20mに変化							
ボルテクスアタック	1						シナリオ回	
効果:	攻撃を「単体」に変化させ、ダメージに+「CL*10」							
アームズマスタリー:長剣	1		パッシブ					
効果:	命中判定+1D6							
ディフェンダー	5	3	マイナー		自身			
効果:	物理防御+ [SL*3]							
マジックディフェンダー	1		パッシブ			自動成功		
効果:	<ディフェンダー>を物理防御、魔法防御ともに+ [SL*3]							
フルディフェンス	1	5	フリーアクション		自身			
効果:	<ディフェンダー>と同時使用し、フリーアクションにする。							
オートガード	3		パッシブ		自身			
効果:	物理防御+ [SL*2]、魔法防御+ [SL]							

防衛点
 ・素 物理: 42 魔法: 9
 ・ステップアース 物理: 51 (+9) 魔法: 18(+9)
 ・アカンパニー 物理: 57 (+6) 魔法: 24(+6)
 ・ディフェンダー 物理: 72 (+15) 魔法: 39(+15)

<設定>
 ・各地を放浪している冒険者で、困っている人を放っておけない心優しい青年。
 ・妙に勘が鋭かった(レボレイション)り、通常の人より体が頑丈なことを活かし、主に人を守る仕事を請け負いながら、冒険者として生計を立てている。

・ある戦場で物心つく前に冒険者の養父・ヴィクトルに拾われたため、実の両親のことは知らない。
 ・養父であるヴィクトルは、義に熱く勇猛果敢な人物で、多くの人々から慕われていた。
 ・ルークはそんな彼を父として、死として、人として尊敬し、誇りに思っていた。
 ・しかし、数年前、ヴィクトルは罪人として捉えられてしまう。
 ・ルークをはじめ、彼を慕う人物は、「彼が罪を犯すはずない」と判決を覆すため奔走するが、彼は処刑されてしまった。
 ・その後、「なぜ父が処刑されたのか」、「自分の正義とは何なのか」を考えながら、傭兵のような仕事をしながら放浪していた。

<ルーク本人の知らない設定>
 ・兵器として開発されたホムンクロス、もしくは、何かの実験体だった。

